

科目名 (英)	公衆衛生学 (Public Health Study)	必修 選択	必修	年次	1		
学科・コース	製菓衛生師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	90 (3)	開講区分	通年 前期

【授業の学習内容】

公衆衛生学の特徴は、集団的視点から健康と疾病の関係性を学び、予防と健康増進に展開することである。本科目では、環境諸要因や生活習慣等が、健康や社会生活に及ぼす影響について理解し、疾病予防や健康増進のための施策等について説明できるようにする。
 ※実務経験：2002年4月から2004年3月まで公衆衛生学研究における食事調査、2009年9月から2016年2月まで特定保健指導業務に携わる。
 主業務としては食事調査や生活習慣病を始めとした疾病予防のための保健指導を行っていた。

【到達目標】

我々の健康に影響を及ぼす社会、環境、生活習慣等に関する主要な事項についてその特徴、問題点、対策としての政策等について述べられるようになる。講義を通じて人の健康に関わる多様な問題を正しく捉え、科学的に解明する能力を獲得し、製菓衛生師資格の取得を目指す。

【具体的目標】

- 目標①公衆衛生の意義(公衆衛生の定義、健康の概念、世界や日本における歴史)について説明することができる
- 目標②公衆衛生の現状(公衆衛生の組織、機関、衛生行政の制度、保健所の業務)について説明することができる
- 目標③衛生統計について理解し、人口統計、疾病統計の指標、データの推移について説明することができる
- 目標④環境衛生の意義(空気、光、水)について人体に対する作用や役割、健康に対する影響を説明することができる。

授業計画・内容

1回目	公衆衛生学の定義、健康の概念について説明できる
2回目	世界における公衆衛生学の歴史について説明ができる
3回目	日本における公衆衛生学の歴史について説明ができる
4回目	公衆衛生行政の特色、衛生行政の構成について説明できる
5回目	公衆衛生行政の制度について説明できる
6回目	保健所の業務について説明できる
7回目	公衆衛生の国際機関について説明できる
8回目	人口静態統計について説明できる
9回目	人口動態統計について説明できる
10回目	人口統計の指標を列挙し、データの推移について説明できる
11回目	疾病統計について主な調査を列挙し、健康指標について説明できる
12回目	疾病統計のデータについて説明できる
13回目	空気の組織、作用、役割について説明できる
14回目	赤外線、可視光線、紫外線について、各々の特徴と役割を説明できる
15回目	人体における水の必要性、また、水質汚染による健康影響について説明ができる
準備学習 時間外学習	公衆衛生学は社会情勢と運動しているため、ニュースや新聞、インターネット等で社会で何がおこっているのか等、情報収集することで授業の理解を深め、また、完成度の高いレポートの作成につなげましょう。また、授業内容の理解度を量るための小テストも適宜行うため、毎回復習しましょう。
評価方法	試験点100点満点で評価する。

【使用教科書・教材・参考書】

製菓衛生師教本 上:(一社)全国製菓衛生師養成施設協会
 製菓衛生師 全書:日本菓子教育センター

科目名 (英)	公衆衛生学 (Public Health Study)	必修 選択	必修	年次	1		
学科・コース	製菓衛生師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	90 (3)	開講区分	通年 後期

【授業の学習内容】

公衆衛生学の概要と環境衛生についてそれぞれ内容を理解し説明ができるようにする。
 ※実務経験：2002年4月から2004年3月まで公衆衛生学研究における食事調査、2009年9月から2016年2月まで特定保健指導業務に携わる。
 主業務としては食事調査や生活習慣病を始めとした疾病予防のための保健指導を行っていた。

【到達目標】

学生の資質を向上させ公衆衛生の向上及び増進に寄与することを踏まえ、製菓衛生師資格の取得を目的とする。

【具体的目標】

- 目標①公衆衛生の意義(公衆衛生の定義、健康の概念、世界や日本における歴史)について説明することができる
- 目標②公衆衛生の現状(公衆衛生の組織、機関、衛生行政の制度、保健所の業務)について説明することができる
- 目標③衛生統計について理解し、人口統計、疾病統計の指標、データの推移について説明することができる
- 目標④環境衛生の意義(空気、光、水)について人体に対する作用や役割、健康に対する影響を説明することができる。

授業計画・内容

1回目	環境衛生；環境と健康（生活衛生（衣服、住居））
2回目	環境衛生；環境と健康（生活衛生（建物や事務所の衛生管理））
3回目	環境衛生；環境と健康（生活衛生（菓子製造施設の環境衛生））
4回目	環境衛生；環境と健康（公害（大気汚染・水質汚染））
5回目	環境衛生；環境と健康（公害（騒音・その他公害））
6回目	環境衛生；環境と健康（地球環境問題））
7回目	疾病の予防；感染症の予防（感染症と病原体）
8回目	疾病の予防；感染症の予防（感染症の起こる3条件）
9回目	疾病の予防；感染症の予防（感染症の予防対策）
10回目	疾病の予防；感染症の予防（現代社会と感染症の問題）
11回目	疾病の予防；生活習慣病の予防（生活習慣病の原因）
12回目	疾病の予防；生活習慣病の予防（高血圧）
13回目	疾病の予防；生活習慣病の予防（動脈硬化）
14回目	疾病の予防；生活習慣病の予防（脳卒中）
15回目	疾病の予防；生活習慣病の予防（心疾患）
16回目	疾病の予防；生活習慣病の予防（悪性新生物）
17回目	疾病の予防；生活習慣病の予防（糖尿病）
18回目	疾病の予防；生活習慣病の予防（肝硬変）
19回目	疾病の予防；生活習慣病の予防（肥満）
20回目	疾病の予防；生活習慣病の予防（高脂血症）
21回目	疾病の予防；生活習慣病の予防（生活習慣の改善・生活習慣病の予防と菓子成分）
22回目	労働衛生；労働と健康（労働衛生の意義）
23回目	労働衛生；労働と健康（職業病と労働災害）
24回目	労働衛生；労働と健康（作業環境と健康）
25回目	労働衛生；労働と健康（作業方法と健康）
26回目	労働衛生；労働と健康（労働衛生の現状と課題）

27回目	労働衛生；安全衛生管理（職場における健康管理システム）
28回目	労働衛生；安全衛生管理（職場における健康増進対策）
29回目	労働衛生；安全衛生管理（わが国の労働衛生対策）
30回目	労働衛生；安全衛生管理（菓子製造施設における労働安全衛生）
準備学習 時間外学習	毎回予習復習することにより、授業がより理解しやすくなります。第8回と第13回目で小テストを行うので、それまでに実施した練習プリント、復習プリントで復習が特に必要になります。
評価方法	試験点100点満点で評価する。

製菓衛生師教本 上：(一社)全国製菓衛生師養成施設協会
製菓衛生師 全書：日本菓子教育センター